

カ ミ ッ ク ４ ０ Ｌ 仕 様 書

(M R — ３ １)

1. **適用範囲** この仕様書は、JIS G 5526 及び JIS G 5527 で規定する K 形継手などの接合に用いる離脱防止金具「カミック 4 0 L」について規定する。

2. **引用規格** 次に掲げる規格は、この仕様書に引用されることによって、この仕様書の規定の一部を構成する。これらの規格は、その最新版を適用する。

JIS B 0205	メートル並目ねじ
JIS G 5502	球状黒鉛鋳鉄品
JIS G 5526	ダクタイル鋳鉄管
JIS G 5527	ダクタイル鋳鉄異形管
JIS G 5527 附属書	ダクタイル鋳鉄管及び異形管用接合部品
JIS Z 2245	ロックウェル硬さ試験方法
KIS A 130	合金ボルト・ナット仕様書

3. **構造** カミック 4 0 L の構造は、付図に示すとおり本体、押ボルト、駒及び保持具よりなり、押ボルトの数は、本体の T 頭ボルト穴数の半数とする。

4. **形状、寸法及びその許容差** カミック 4 0 L の形状、寸法及びその許容差は、付図による。なお、ねじは、JIS B 0205 による。また、形状及び寸法の検査は、適切な測定器具又は限界ゲージなどを用いて全数行う。

5. **材 料** カミック 4 0 L の材料は、次による。

5.1 本体の材料は、JIS G 5527 附属書の 類による。

5.2 押ボルトの材料は、KIS A 130 による。

5.3 駒の材料は、表 1 の化学成分を有する低合金ダクタイル鋳鉄とし、熱処理後の硬さは、HRC25～50 とする。

5.4 保持具の材料は、アクリロニトリルブタジエンゴム(NBR)又は同等以上のもので、水質に影響を与えないものでなければならない。

表 1 化学成分

化学成分	含有量 (%)
C	3.8 以下
Si	2.8 ～ 3.2
Ni	1.4 ～ 2.0
Cu	0.5 ～ 0.8

6. **塗装、酸化被膜処理及び外観** カミック 4 0 L の塗装、酸化被膜処理及び外観は、次による。

6.1 本体及び駒の塗装及び外観は、JIS G 5527 附属書による。

6.2 押ボルトの塗装、酸化被膜処理及び外観は、KIS A 130 による。

7. 試 験

7.1 **機械試験** 本体の引張り試験及び硬さ試験は、JIS G 5527 附属書による。また、押ボルトは、KIS A 130 による。

7.2 **化学成分** 押ボルトの分析試験は、KIS A 130 による。また、駒は、JIS G 5502 による。

7.3 **硬さ** 駒の硬さ試験は、JIS Z 2245 による。

7.4 **酸化被膜試験** 押ボルトの酸化被膜試験は、KIS A 130 による。

8. **表 示** カミック 4 0 L には、見やすい場所に、次の事項を鋳出し、打刻などで表示する。

a) トの記号

b) D の記号

c) 製造年（西暦の下 2 けた）

d) 製造業社名又はその略号

e) 呼び径